



廿日市市立佐伯中学校 令和4年度

【自律】学校だより

ホームページ <http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/>

学校教育目標：「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

3月号 (No.16)
令和5年
3月24日(金)

第54回卒業証書授与式

3月8日(水)に第54回卒業証書授与式が行われ、58名の生徒が巣立っていきました。吹奏楽部の演奏「威風堂々」が流れる中、清々しい表情で入場しました。今年から、保護者の方に成長した姿を見ていただくという思いで、壇上での返事に変えました。生徒はそれに応えるように、精一杯の声で返事をしていました。校長による式辞の後に、3年ぶりに来賓による祝辞がありました。竹内PTA会長は「一生懸命に取り組むことの大切さ」について語っていただきました。塩田副会長の送辞では、先輩への感謝が伝えられました。森河元生徒会長は答辞で、「新型コロナウイルスの影響で、様々なことが中止や延期になってしまったけれど、その中でも友達と過ごした時間が一生の宝だ」と語りました。最後は、校歌を3番まで歌い式は終了しました。全体を通して、厳粛な中にも凛とした空気感のある素晴らしい卒業証書授与式となりました。花道を作って卒業生を送り出しました。その後、沢山の生徒が、美術部が作成したお祝いを表現したオブジェの前で記念写真を撮っていました。



校内駅伝・マラソン大会

3月17日(金)に、「校内・駅伝マラソン大会」が行われました。男子マラソンの部、女子マラソンの部、男女混合駅伝の部の3種目が行われ、生徒は自分の出る種目に真剣に臨み、精一杯走りました。仲間を応援する声がグラウンドに響く中、一生懸命走り切る姿に感動しました。

体育委員や環境委員による準備、生徒会執行委員による進行など生徒による運営も素晴しかったです。



表彰

【駅伝の部】1位 2年1組Aチーム, 2位 2年1組Bチーム, 3位 2年2組Aチーム

【駅伝・男子】1位 岩見貫太 2位 坂本健太, 龍野光瑠, 西川光一 4位 名越貴徳, 藤田大治郎

【駅伝・女子】1位 中本心絆 2位 尾崎瑛南 3位 山村つぐみ

【マラソン・男子】1位 沖野直晴 2位 的場悠仁 3位 山口夏輝 4位 正木大地 5位 佐々木春馬

【マラソン・女子】1位 黄楊はなお 2位 石原遙乃 3位 渡邊心晴 4位 山崎莉胡 5位 國廣椿未

※カラー版は、佐伯中のホームページでご覧いただけます。

地元の「いちご」が給食に!

3月2日の学校給食に、地元の田原農園さんとワイ・ワイファームさんから、いちごが提供されました。両農家さんは、佐伯地域でいちご栽培を含め、農業を営んでいる農家のことを生徒の皆さんに知ってほしいという願いから実現したものです。給食中に、田原農園の今田さんから放送でメッセージが流れました。そして、誰が作っている



のか知ってもらうために、各教室に出向かれました。大きくて甘いいちごに感動しました。

3年生を送る会

3月2日にオンラインで3年生を送る会が行われました。生徒会執行委員のゲームから始まり、1・2年が各学級で考えたお祝いメッセージを贈りました。その後部活動の後輩やからメッセージが届けられました。最後の3年生の思い出ビデオでは、入学した頃から最近に至るまでの様々な映像が映し出され、成長した姿を見ることができました。お礼に3年生から後輩にエールが送られました。執行委員の皆さんお疲れ様でした。



避難訓練「土砂災害」

3月6日に土砂災害を想定した避難訓練を行いました。本校を含む地域が土砂災害警戒判定メッシュ情報で土壌雨量指数基準に到達したと想定し、土砂災害発生の可能性があるため、避難放送を行いました。生徒は各校舎の最上階に集合し、土砂崩れの危険を回避しました。その後、各学級に帰って土砂災害ハザードマップで地域の危険場所を確認したり、土砂災害から身を守るすべを学習したりしました。



【令和4年度メイプル賞(第2回)】

【馬術】 眞田 蒼

【津田市民センター主催講座に係るボランティア】

【星空科学ラボ】 石田梨乃, 岡田実桜, 岩本七海
山崎莉胡, 塩田唯花, 池本 空

【掃除マイスター新取得者】 岩見貫汰

表彰

お願い:働き方改革のため、学校への電話は、午前7時45分～午後6時まででお願いします。

「いちご農家」からのメッセージ

こんにちは。私は田原農園の今田です。今日の給食で出ているイチゴをここ佐伯地区で育てています。今回は、佐伯中・津田小・友和小の給食で地元の食材として使っていただいています。皆さんは佐伯地区のことが好きですか?ここは自然豊かで、とてもきれいな水が流れています。この地域で育てたら気付かないかもしれませんが、こういう地域は多くはありません。しかし、現在は使用していない田んぼが多く、太陽光パネルが設置されている所が増えていきます。このような状態が進んでいくと、佐伯地区はどんどん衰えていくと思います。野菜を育てる土地やきれいな水は沢山あるのに、私達の育った地域がこのような状態はよくないですね。この山に囲まれた地域の本来あるべき姿は今の発展の仕方ではないと思います。そこで私達のように、この地域で農業やお店を営んでいる人達は皆で協力して、自然を保ちながら佐伯地区を盛り上げようとしています。佐伯地区がきれいになり、盛り上がることで、多くの人に住みたいと思われる場所になると思います。

私達は家や給食などでご飯を当たり前食べていますが、世界には満足に食べることができない子供たちも沢山います。そういう現状を知り、食べ物をいただけることに感謝の気持ちを持ちながら食事することはとても大切なことです。その表現方法の一つが食事前の「いただきます」という言葉です。その食べ物の命に対して、生産した人に対して、料理してくれた方に対して感謝の気持ちを忘れないように、この「いただきます」という言葉を大切にしてください。今日の給食も一つ一つの食材が、僕達生産者が一生懸命育てた野菜が沢山使われています。農業で食べ物を育てている人は、皆さんのように、食べてくれる人がおいしいと思ってもらい、元気になってもらえるように一つ一つ大切に育てています。自分が頑張って作ったものを簡単に捨てられると悲しいですよ。僕達も同じように頑張って育てたものを食べられずに捨てられてしまうのは、すごく残念で悲しい気持ちになります。皆さんが残さず食べてくれることで喜ぶ人が沢山いることも忘れないでください。今日の話をまとめると、ご飯が食べられることに感謝して笑顔で出てきた食べ物を残さず食べましょうということです。今日のイチゴもおいしかったと思ったらおいしかったよと言ってもらえると、これからもおいしいイチゴを作るぞって気持ちになるので、見かけた際には声をかけてください。ありがとうございました。

キャリア教育「インターン」

2年生は「総合的な学習の時間」に、新型コロナの影響で中止となった職場体験の代わりに、「インターン」という教材を使って、職業観や勤労観を育むキャリア教育(学習)を行いました。インターネットを介して、カルビーや博報堂等の企業と連携を図り、担当の方と交流する中で、企業の理念や社会的存在の意義などについて学びました。その後プレゼン資料を作成し発表しました。廊下に、成果物を掲示しています。

